



文字が語るもの

会期 10月11日(土)～11月30日(日)

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜(10月13日、11月3日・24日を除く)、10月14日(火)、
11月4日・25日(火)、
土浦全国花火競技大会開催日(11月1日、延期の場合は8日)

入館料 一般…150円、高校生以下無料

※11月3日(月)文化の日、11月13日(水)茨城県民の日は無料開館

今回の企画展は、文字が記された土器などに注目した展示です。記された文字の分析をすることで、文字資料が生み出された当時の社会背景を紹介します。



入ノ上遺跡群出土
墨書土器「青毛」



本田山遺跡出土
長祿五年銘金泥板碑
【古河市指定文化財】
(古河市教育委員会蔵、
写真提供)

記念講演会

中世の祈りのしるし 一板碑・石碑の世界一

日時 10月26日(日) 午後1時30分～3時

講師 本間 岳人さん(立正大学准教授)

定員 60人(先着順)

申込方法

9月30日(火)午前9時より
右のQRコードから、または電話



ワークショップ「消しゴムはんこを作ってみよう」

彫刻刀を使って土器や古墳などの絵柄から、消しゴムはんこを作ります。

日時 11月9日(日)

午前10時～11時30分、午後1時30分～3時

対象 小学4年～中学生(小学生は保護者同伴)

講師 かとう みのりさん(*-ita*の小屋)

定員 各15人(先着順)

料金 500円(材料費)

申込方法

9月30日(火)午前9時より
右のQRコードから



学芸員によるギャラリートーク

日時 10月12日(日)、11月22日(土)

午後2時～2時30分

消しゴムはんこを押してみよう！

会期中、木簡の形をした台紙に自由に押せます。

☎上高津貝塚ふるさと歴史の広場(☎826-7111)



つちうら防災ノート

☎防災危機管理課(☎内線2292)

頻発する風水害から身を守るために

近年、局地的な大雨が全国各地で頻発し、急な河川の増水や氾濫などによる建物の浸水や土砂災害などが発生しています。9月も台風や秋雨前線、線状降水帯による風水害のおそれがあります。日頃から気象情報に注意するほか、避難場所の確認など、いざというときに身の安全を守る準備をしておきましょう。

土浦市の
防災情報は
こちらから



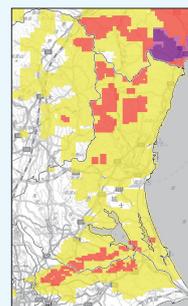
◆線状降水帯に注意

次々と発生した積乱雲が長い列(線状)になり、数時間にわたって通過・停滞することでほぼ同じ地域に強い雨が長時間降り続きます。

気象庁では、線状降水帯による大雨の可能性がある場合に、半日程度前から気象情報で呼びかけを行っています。気象庁ホームページの「キキクル(危険度分布)」や河川の水位情報などを確認し、少しでも危険を感じた場合は迷わず安全な場所へ避難してください。

◆「キキクル」を活用しましょう

「キキクル」は、大雨や洪水による災害の危険度を地図上にリアルタイム表示します。土砂災害・浸水害・洪水害の3種類があり、災害発生の危険度が5段階に色分けして表示され、10分ごとに情報が更新されます。



キキクルの表示例

「キキクル」はこちらから▶

